



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1134		
科目名	社会学 2		
担当教員	西田 亮介		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 5		
講義室	1502	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現・数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、問題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚-15% A2 異文化適応-10% D1 市民的要素と参加-50% I1 理解・分析と読解-25%		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	・社会学を学修する前段階として、戦後史に関する社会科学的な関心を養い、客観的に理解し、同時に、a.)情報の探索、b.)（簡単な分析とオピニオンを付加した）資料作成、c.)報告、のスキルを醸成する。 ・難しくはないが、多くの課題や演習、報告等を課すので受講に際しては留意すること。 ・授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。		
授業の趣旨	■副題 日本戦後史についての理解を深めながら、社会科学の基礎知識を養う。 ■授業の目的 ①社会人として必要な基礎能力を高める。 ②自己啓発力・能力開発力を高めるために、様々な社会現象／メカニズムを理解、分析する能力の基礎を身につけ、将来の社会の在り方を展望する。 ③コミュニケーション能力を高める。 ■授業のポイント 現代社会と関連させながら日本戦後史の基礎知識を学ぶと共に、自ら主体的に考え、自主創造的な問題意識と多角的な視野を持つ。		

総合到達目標	■戦後史を題材にグローバルな視点で社会的事象を多角的に考察する力を高める。知識・スキル・価値観・思考・学習の題材として、社会科学の基礎知識を理解する。また、異文化との交流の重要性を認識するために、異文化との交流を積極的かつ多面的に行う態度を身につける。社会学も含む社会科学的なデータの収集・分析・解決に関する技能を習得する。 ・現代社会の変化と現状を理解し、社会科学的な観点から説明できる。（第1回～15回） ・ミクロとマクロ連関のメカニズムを具体的な事例で比較しながら、多面的に考察することができる。（第2回～15回） ・具体的な社会現象をとりあげ、それを用いて社会科学的な観点で考察できる。（第2回～15回） ・ミクロからマクロまでの社会問題について、社会科学の研究方法の観点から分析することができる。（第2回～第14回）	
成績評価方法	■授業参加度（70%）:適用ルーブリックE1・I1 （評価の観点）その日のポイントについての課題を課す。 （フィードバックの方法）授業内かポータルで解説する。 ■総括レポート1回（30%）:適用ルーブリックI1・I3 （評価の観点）総括レポートを課し、理解度を確認する。 （フィードバックの方法）講評を希望する学生に対応する。	
履修条件	特になし。初回出席必須。非合理的な理由での単位取得の交渉は一切受け付けない。	
履修上の注意点	特になし。毎回ノートPCやタブレットなどを持参すること。教科書は何らかの方法で学期の間手元においておけるようにすること。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス①ー授業説明 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
	2	①授業テーマ ガイダンス②ー現代社会を理解するために戦後史を学ぶことの意義 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
	3	①授業テーマ 教科書① ②授業概要 教科書のリサーチ(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	4	①授業テーマ 教科書② ②授業概要

	教科書のグループワーク(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
5	①授業テーマ 教科書第2章① ②授業概要 教科書第2章のリサーチ(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
6	①授業テーマ 教科書第2章② ②授業概要 教科書第2章のグループワーク(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
7	①授業テーマ 教科書第3章① ②授業概要 教科書第3章のリサーチ(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
8	①授業テーマ 教科書第3章② ②授業概要 教科書第3章のグループワーク(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
9	①授業テーマ 教科書第4章① ②授業概要 教科書第4章のリサーチ(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
10	①授業テーマ 教科書第4章② ②授業概要 教科書第4章のグループワーク(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
11	①授業テーマ 教科書第5章①

		②授業概要 教科書第5章のリサーチ(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	12	①授業テーマ 教科書第5章② ②授業概要 教科書第5章のグループワーク(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	13	①授業テーマ 展望——日本戦後史から現代社会へ、社会学とはなにか ②授業概要 日本戦後史を学習し、現代社会を理解する意義を学ぶとともに、近現代社会を理解するための社会学について簡単に展望する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	14	①授業テーマ 最終課題のレビュー ②授業概要 レポートのレビュー(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
	15	①授業テーマ 総括と質疑 ②授業概要 今までの授業を振り返り、現代社会と日本戦後史の関係、見方等について自分の言葉で検討できる(A1、A2、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
関連科目		
教科書		老川 慶喜, 2016, 『もういちど読む山川日本戦後史』 山川出版社.
参考書・参考URL		特になし。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先: ryosukenishida@gmail.com ■オフィスアワー: 都度、連絡のこと。
研究比率		

